Smart道庁×ナナイロひだかサポーター制度で魅力発信をカイゼン

概　　要	ナナイロひだかサポーターである日高振興局職員が副業の場や庁外のイベント会場などから、その様子を公用スマホ等により撮影し、スピーディーにＳＮＳで発信
効　　果	副業や開催中のイベントの様子を撮影し、公用スマホからOPSWATにより速やかに１パソにデータ転送することで、ＳＮＳでリアルタイムな情報発信が実現

これまで

時間がかかる
公用車運行命令
公用カメラ使用

私用スマホの写真は
１パソへの転送困難

外勤先からは
ＳＮＳ発信は難しい

“ＳＮＳでの魅力発信にカイゼンの余地あり”

- ○ イベント会場からリアルタイムに発信することが困難
- ○ 写真の撮影からSNS発信までの作業負担と時間的なコスト
- ○ ひだかで働く魅力を発信したいが、シゴトの現場に入れない

これから

Smart道庁×ナナイロひだかサポーター制度が道庁のＳＮＳ発信をカイゼン

副業先で出会った魅力を公用スマホで撮影

課の共有アカウントでOPSWATにログインすれば写真を共有できる！

☑ いつでも
公用スマホがシャッターチャンスを逃さない

☑ どこでも
OPSWATで写真データを速やかに１パソへ転送

☑ スマートに
時機を逃さないSNS発信を実現
テザリング機能により、１パソを使い現場からSNS発信

テザリング機能を活用してイベント会場からリアルタイム発信

撮ったその場でＳＮＳ投稿

ストーリー機能も活用！

イベント会場の様子をリアルタイムで発信！

日高振興局地域創生部地域政策課

（参考）ナナイロひだかサポーターの活動の様子

活動の様子

令和４年７月６日（水）早朝、ナナイロひだかサポーター２名（地域政策課若手職員）が浦河町内の苺農家で苺収穫等の副業を実施。

浦河町の名産、夏イチゴ。

収穫作業前に収穫方法を教わる。

収穫方法を現場で教わるナナイロひだかサポーター。

収穫した苺は籠の中にきれいに並べる。

収穫した苺を公用スマホで撮影。「浦河の苺が旬です」とＳＮＳで発信予定。

次の栽培に向けて苺の苗づくり。

参考資料　9/4（日）「優駿日高道!!オールひだか魅力いっぱい！観光物産展」でのＳＮＳ発信

令和４年９月４日（日）、赤レンガ庁舎前庭で開催された「優駿日高道!!オールひだか魅力いっぱい！観光物産展」においてSmart道庁を活用したリアルタイムでのＳＮＳ発信を計２５回実施。
特にウマ娘等身大パネルに関する投稿がリアルタイムで拡散されたこともあり、イベント来場者は、コロナ禍の中にありながら、前回（2019年9月開催）と同水準であり想定を上回る約4,500名に達した。

9/2（金）　11:00

♡いいね！	5,933件
リツイート	2,524件
引用リツイート	197件
インプレッション数	約76万件

- これマジ？北海道行きます
- 北海道民うらやま
- 競馬見た帰りに行ってみようかな
- 行く！！！！赤レンガ！！！！！

☑ ウマ娘の制作会社Cygamesもリツイートして大きな反響

9/4（日）

- リアルタイムでの記事投稿
- うちストーリー機能により発信

11:28

♡いいね！	2,169件
リツイート	657件
引用リツイート	32件
インプレッション数	約22万件

- こちらのイベントですね！16時までやってるみたいなのでぜひ！！！
- わいも行きました✋
- ターボかわいい！

16:36

♡いいね！	2,036件
リツイート	750件
引用リツイート	16件
インプレッション数	約15万件

- こういう機会にマナーをもっと知ってもらう事って大事なＰＲよね
- マナー啓発パンフレットをお配りされたのは、すごくいい事だと感じました！これからウマ娘のファンの方が日高管内を訪れる事が多くなると思いますので、私も微力ながら行って良かったところを発信できたらと思います！

リアルタイムＳＮＳ発信の仕組み

※ストーリー機能による発信の場合は、必要に応じて当課所有のipadに転送して記事作成や投稿処理を実施

（参考）ＳＮＳ以外の報道の状況（主なもの）

- オリコンニュース
- yahooニュース（オリコンニュース引用）
- ファミ通com、ファミ通app
- 東スポ競馬
- yahooニュース（東スポ競馬記事引用）
- 北海道新聞、毎日新聞、中日新聞、千葉日報（オリコンニュース引用）　等

※いいね！数、リツイート数、引用リツイート数、インプレッション数は全て令和４年９月１２日（月）１２時時点

上川地域の北海道型ワーケーションの実体験と情報発信

概　　要	Smart道庁の取組の一環として今年度から全職員に配付されたスマートフォンを活用し、新しい働き方として注目されているワーケーション体験に取り組み、体験記をブログに掲載した。
効　　果	職員自らがワーケーションを実際に体験することにより、ワーケーション施設の環境や地域の魅力などを、より効果的に発信することができる。
道民の声	ワーケーションを推進する地元自治体からは、道職員も地域のワーケーション施設を活用し実践すべきとの意見がある。
気　づ　き	ワーケーションの実体験を通じた魅力発信という趣旨から全体を公務としたが、地域のワーケーション施設の魅力発信や道職員の多様な働き方を進めるには、道職員自らが全道各地でワーケーションを実践することが効果的であり、そのための環境整備を進める必要がある。

ワーケーション体験

■富良野でのワーケーションを体験

スマホの「テザリング」機能を使い、庁舎外から業務パソコンで庁内ネットワークに接続し、富良野市内のワークスペースで庁内と同じように仕事に取り組んだ。

（ワーケーション体験記から）
今回私が利用させていただいたのは、ＪＲ富良野駅から歩いて約５分の距離にある複合施設「コンシェルジュフラノ」。空きビルを再生し、２０１８年６月にオープンした施設には、観光案内所やシェアオフィス、ドミトリー形式の宿泊施設が入居している。１階には、オープンタイプのワークスペースがあり、無線LANやコンセントも使用可能で、誰でも無料で利用することができる。

■ワーケーションの一環として森林散策や買い物

ワーケーションの一環として、森の中にログハウスが点在する「ニングルテラス」や商業施設「フラノマルシェ」を訪問。幻想的な雰囲気の中散歩し、手工芸品に触れ合ったり、地元特産品を購入する等、地域の魅力と接した。

（ワーケーション体験記から）
当日はあいにくの雨でしたが、新富良野プリンホテルの目の前にある「ニングルテラス」を散策することができた。周辺一帯は幻想的なおとぎ話の様な雰囲気で、歩いているだけで日常を忘れさせてくれた。
また、コンシェルジュフラノから徒歩圏内にある商業施設「フラノマルシェ」では富良野メロン等、地元特産品を買うこともできた。

今後は中富良野町、東川町、美瑛町でワーケーション体験と情報発信に取り組む予定。

上川総合振興局地域創生部地域政策課

そらちの魅力はモバイルワークでワン・デイ発信

概　　要	ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」で地域の情報を発信するため、インタビューや写真・動画の撮影（編集）を行う際、公用スマホ・パソコンを活用して現地で原稿を完成させ、電子決裁を経て取材先に掲載イメージを提示し、最終確認を得て、その場で掲載
効　　果	・インタビューや写真・動画の撮影（編集）から掲載までの一連の業務を現地で完結させることが可能となったことにより、効率的・即時的な情報発信が可能 ・現地で取材先に掲載イメージを提示・説明し、校正が可能
道民の声	取材先では、その場でウェブサイトの公開イメージが確認できることに好感を得た。
気　づ　き	写真・動画撮影から掲載までの一連の業務を行うと、公用スマホ・パソコンの電池切れが発生しがち。

～これまで～

・現地で取材（インタビューや写真・動画の撮影）を行い、帰庁後に記事を作成
　→ 撮影漏れや発信までのタイムラグが発生
・取材先がEメールに不慣れな場合、FAXで記事の内容確認を依頼
　→ 収受確認の手間、白黒で不鮮明なためイメージが掴みにくい

～これから～

・取材～記事・動画作成～初稿作成～決裁～発信の一連の作業を一日で完結
　→ 撮影漏れがあっても、現地で追加撮影が可能
・帰庁前に取材先に完成版の記事（カラー）を提示
　→ 取材先が掲載イメージを確認可能

説明・報告の際は
DoMEETを活用!!

⑤取材先にイメージを提示・説明

✓ 情報発信の効率化！
✓ 発信力UPを望む取材先（地域）との迅速かつ正確な意思疎通！

①インタビュー

②写真撮影

③動画撮影・編集

初稿作成

④上司に説明・報告

⑥校正した原稿を電子決裁
⇒ その場で掲載

「そらち・デ・ビュー」URL → http://sorachi-de-view.com/　空知総合振興局地域創生部地域政策課

「ガーデンフェスタ北海道2022」など臨場感あふれるリアルタイムな情報発信

概　　要	・管内市町村で実施されているイベントに、職場から持参した公用スマホ、PCを活用して、会場の雰囲気や来場者の様子など、現地でしか分からないリアルタイムな情報をSNSで発信。 ・様々な動画を共有ドライブに保存し、来場者のニーズに応じた動画を速やかに放映。
効　　果	・取材から情報発信までの時間短縮、発信する情報のレベルアップ ・来場者のニーズに応じた的確かつ速やかな情報発信
道民の声	・会場の雰囲気が知ることができて、いいね！ ・興味のある動画を見ることができて、石狩地域をより深く知ることができた！
気　づ　き	PCのバッテリーの減りが早いため、長時間の屋外使用をする場合は大容量モバイルバッテリーが必要

- **現場で取材した情報を、職場と相談の上、その場で発信**
- **来場者とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝでﾆｰｽﾞを把握するなど、職員の現場対応力が向上**

～これまで～

① イベント等で取材した内容・写真等を、庁舎に持ち帰り、記事作成・決裁の上、職場PCから情報発信。
帰庁時間が遅く、当日の情報発信ができないことも多々…。

② 多数のDVDを持ち込んで、動画放映するため、入れ替えに時間がかかる。
様々なニーズがあるため、来場者ニーズに応じたDVDを持参していないことも…。

～これから～

① イベント等で取材した内容・写真等を基に、現場で記事を作成。
→共有ドライブにアップし、公用スマホで上司に確認・決裁
→現場から、SNSへの情報発信

リアルタイムな情報発信

② 地域PR動画を共有ドライブに保存
→来場者ニーズに応じて、共有フォルダ内の地域PR動画を放映
…仮に、共有ドライブに保存されていない動画のニーズがあった場合にも、
公用スマホで職場に連絡し、共有ドライブに保存してもらうことで、放映可能

来場者のニーズに応じた情報発信

縄文関係イベントなど渡島の魅力を積極発信

概　　要	イベント等で外勤する際に、職場から持参したスマホ、PCを活用して外勤先において写真撮影、電子決裁、振興局公式インスタグラム投稿内容の地域政策課への送信を行うことで、持ち帰り作業の削減とジャスト・イン・タイムの記事投稿を実現
効　　果	職員からの情報発信が手軽になり、インスタグラム投稿記事の増加、新鮮な情報発信の実現
気　づ　き	現地の状況により投稿タイミングが左右され、地域政策課で投稿用タブレット操作を行う担当者が外勤等で不在となる時間もあり、他の担当者への引き継ぎなど調整が必要

➢ 公用スマホ等を活用したインスタグラム投稿

～これまで～

イベント等の外勤先で課のデジカメ等で撮影後、職場に帰ってから撮影した写真をパソコンに取り込み記事を作成、課の決裁を終えてから地域政策課に投稿依頼し、地域政策課で投稿用タブレットを操作し投稿

～これから～

① 公用スマホとモバイルPCをイベント等の外勤先に持参し、現地で撮影、投稿記事を作成
② 投稿記事を現地で電子決裁し、決裁終了後地域政策課に連絡、システム施行（写真はＮドライブへ格納）
③ 地域政策課での確認、電子決裁後に投稿用タブレットで速やかに投稿

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録１周年関連事業　イベント情報の発信

＜イベント会場撮影写真＞

環境生活課→イベント初日の投稿依頼

地域政策課→概ね１時間で投稿

＜インスタグラム投稿記事＞

ドローンなどで撮影した檜山地域の魅力をリアルタイムで配信

概　　要	外勤時に地域の旬な魅力がある場所に立ち寄り、公用スマートフォンで撮影したデータを職場PCに転送し、その場から公式SNSで情報発信を行う。
効　　果	タイムリーな情報発信を行うことができ、公式SNSの有効活用に繋がる。
道民の声	きめ細やかな情報発信を見て楽しむことができて良いという好意的な声があった。
気　づ　き	公用スマートフォンにSNSアプリを導入できるようになれば、より効率よく情報発信を行うことができ、業務の効率化に繋がる。

➢ 地域の旬な魅力情報を現地からリアルタイムで配信

～これまで～

公式SNS投稿用の写真を撮影し、帰庁後、職場PCにデータを転送し、記事を作成して投稿

～これから～

① 公式SNS投稿用写真を公用スマートフォンで撮影
② 写真データをOPSWATを活用して、職場PCに写真データを転送
③ 公用車内で投稿記事案の作成、Nドライブに保存して、投稿記事案の内容を職場で確認
④ 投稿記事案の修正の有無を職場から指示
⑤ 職場からの指示に沿って公式SNSへ投稿

※2人以上で外勤に出た際には、③～⑤を移動中に行うことが可能となり、より効率化が図れる

ドローンで撮影した写真

～具体例～

① InstagramやFacebookのストーリーズ機能(※)を活用して、リアルタイムで情報発信を行うことで、ユーザーに最新の情報を届けることができるほか、SNSのツールをフル活用することができる。
② ドローンで撮影した写真をその場で職場PCに取り込んで記事を作成することができる。

＜編集作業＞

＜投稿画面＞

公用スマホで撮影した写真

★ストーリーズ機能とは？

ストーリーズ機能とは、24時間限定公開の投稿のことで、日常の瞬間や体験を素早く簡単にシェアすることができる機能。(※1)

日本におけるInstagramのデイリーアクティブアカウントの70%がストーリーズを利用している。(※2)

(※1)【参照】Instagram｜Instagramストーリーズの使用｜公式サイト
(※2)【参照】Instagramの国内月間アクティブアカウント数が3300万を突破｜Metaについて（fb.com）

北海道・檜山の旅プロジェクトチーム（檜山振興局内若手職員チーム）

留萌管内の「風景」や「食」などの画像データ等の共有化

概　　要	留萌振興局職員が業務等を通じて撮影・取得した、留萌管内の「風景」や「食」などの画像データ等の共有化ルールを定めることにより、各種資料作成や動画編集等の業務の効率化を図る。
効　　果	・業務の効率化 ・資料や動画の質の向上

➢画像を共有し、効率的で魅力的な情報発信

～これまで～

・業務で画像が必要な場合、局内や外部に画像提供を依頼したり、現地に撮影に行く必要などがあった。

～これから～

・業務で画像が必要な場合、所定のフォルダから必要な画像を検索して使用することが可能。

＜「画像データ等」の撮影から共有化までの流れ＞

① 出張の際に公用スマートフォンで風景等の写真を撮影
② 公用スマートフォンで撮影した「画像データ等」をファイル確認システム（OPSWAT）を使用して、庁内LANに転送
③ 定められた「共有化ルール」に則り、Ｘドライブ内の所定フォルダに保存

＜共有化された「画像データ等」の使用方法＞

① Ｘドライブ内の所定フォルダに保存された「画像データ等」から、業務で使用したいデータをコピー
② 定められた「共有化ルール」に則り、「画像データ等」を使用

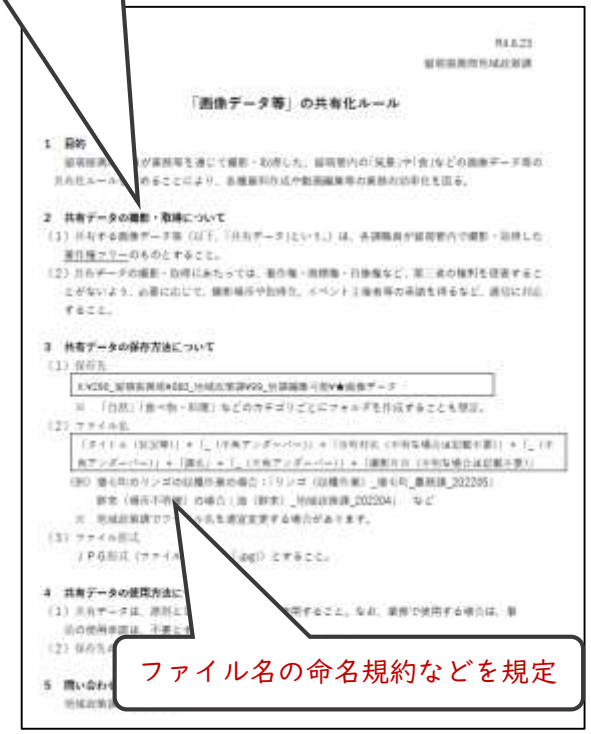
【共有化ルールに基づきファイル名を命名】

夕陽(塩見緑地①)_留萌市_地域政策課_202206.JPG

【Xドライブに画像データ等を保存】

共有化時の注意点等を規定
（著作権、商標権、肖像権などの第三者の権利を侵害しないことなど）

【共有化ルールを策定】



「画像データ等」の共有化ルール

1　目的

2　共有データの撮影・取得について

3　共有データの保存方法について

4　共有データの使用方法に

5　問い合わ

ファイル名の命名規約などを規定

留萌振興局地域創生部地域政策課

全職員で集めた十勝の魅力をインスタグラムで発信

概　　要	公用スマホを持つ全職員が外勤の際などに見かけた、十勝らしい四季折々の景色や、立ち寄った飲食店等での食べ物、観光名所などの写真や動画を十勝総合振興局公式インスタグラム「とかちライフ」で発信
効　　果	十勝管内の各出先機関（森林室、農業改良普及センター、耕地出張所等）も含め、全職員で取り組むため、管内の様々な場所から多くの写真や動画が集まり十勝の魅力を効果的に発信できる。
気　づ　き	・もっと手軽にスマホから職場のPCへ容量の大きい動画を送付できるよう改善が必要 ・スマホから直接Ｘドライブに保存できると更に便利

➢ 全職員で十勝の魅力を発信

～十勝総合振興局公式インスタグラム「とかちライフ」～

① 出張や外勤の際に見かけた十勝らしい景色などを公用スマホで撮影
② 写真データをファイル確認システム（OPSWAT）で職場PCへ転送し、Ｘドライブに撮影場所やコメントなどを添えて保存
③ インスタグラム担当者が、Ｘドライブに保存された写真をインスタグラムに掲載

～写真は各種イベントのＰＲにも活用～

Ｘドライブに保存された写真データは、インスタグラムで活用するほか、フリー素材として振興局内で共有。各種イベントのPR等の際にも活用可能

＜音更町道の駅＞

＜鹿追産チョウザメ＞

＜ぶた丼＞

Follow me!

TOKACHI_LIFE_OFFICIAL

十勝総合振興局